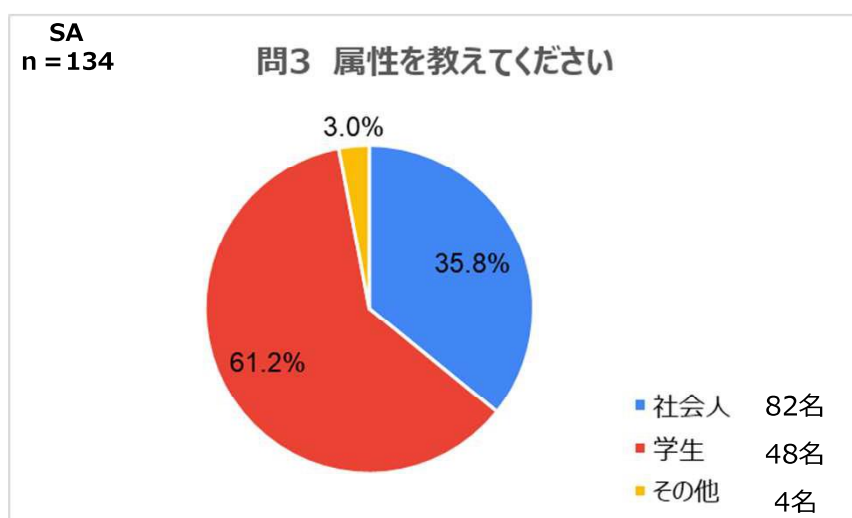
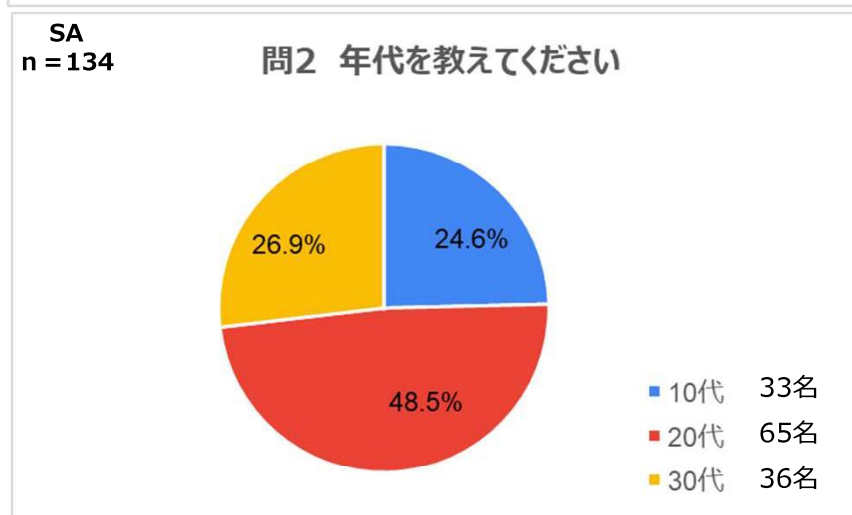
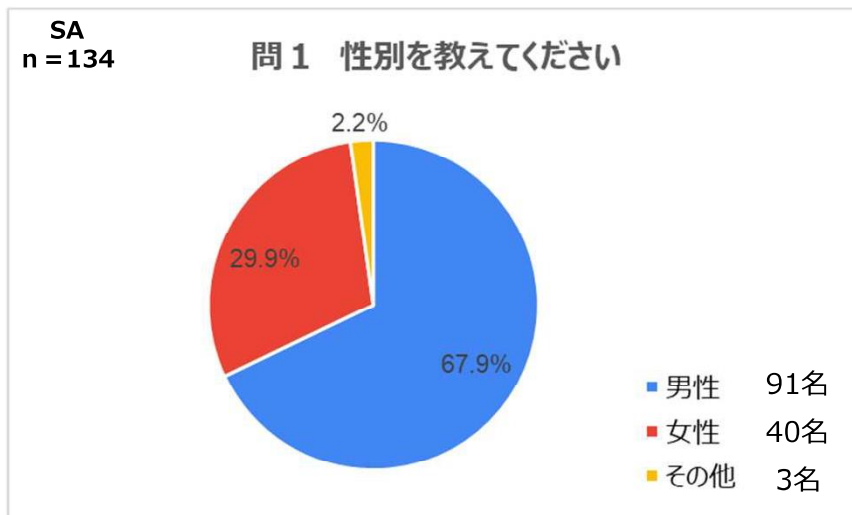
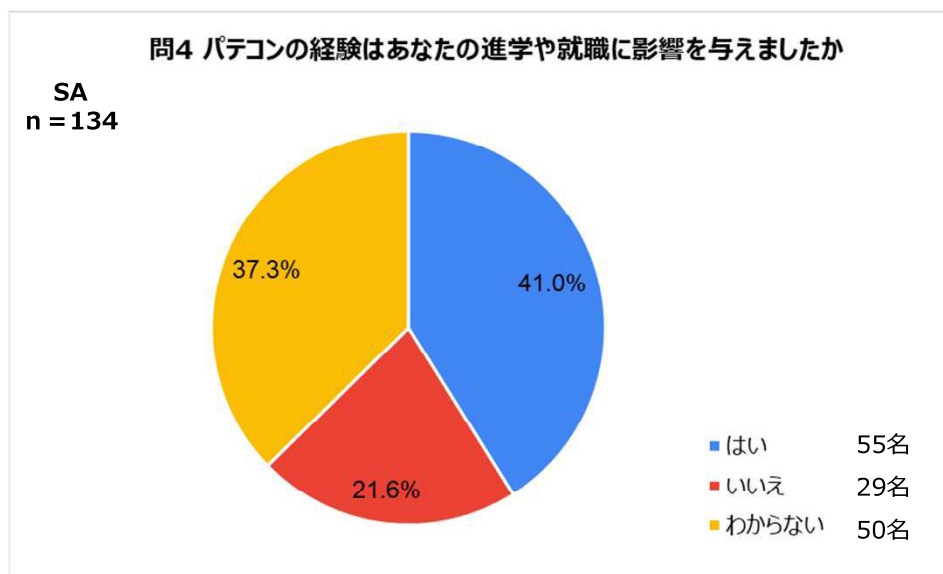


WEB回答調査票 集計結果

アンケートは平成14年度から令和4年度までの受賞者1448名のうち939名に配布し、134名から回答を得た。単一回答をS A、複数回答をM A、回答数をn = (数字) で表した。





問4-1 具体的にどういった部分で影響を受けたか教えてください。

<進学に関するコメント10件>

- ・進学の際の体験談として、活用できるようになった。

<就職に関するコメント22件>

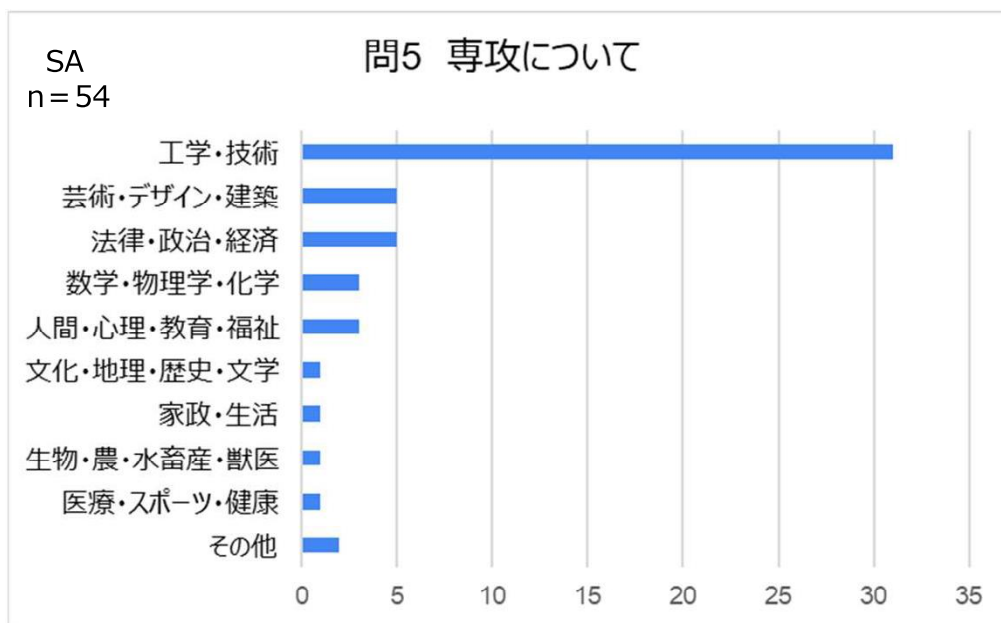
- ・就職活動を行う中で受賞経験を話す機会が多々あり、自身の成功体験として取り上げたため。
- ・設計者になることができた。
- ・上司に関心を持たれた。
- ・パテコンで出願経験があったことで精密機械業の知財部に就職することができた。
- ・転職際に話題になり、1つの実績として評価を受けた。
- ・特許関連で働いています。
- ・コンテストに挑戦する活動をしていたおかげでINPITとのつながりが生まれ、そのつながりから今の会社と出会い、知財関連の活動による評価によって就職したこと。
- ・ガクチカとして主張できた。

<進路に関するコメント12件>

- ・新規性を生み出せる人間であることを自覚し、デザインや工学のみならず、企画などの進路も見えたこと。
- ・教員を目指すきっかけになった
- ・理科系の大学院に進学し、研究や教育を行いたいと考えるようになりました。その後、大学教員になり中高生の知財教育にも携わることになりました。
- ・教育現場で生徒に指導している。
- ・就職先の選択の幅が広がった。将来したいことが定まった。
- ・内定を得たため就職を考えていたが、一からデザインを学びたくなり、専門学校へ入学した
- ・受賞後に特許庁を見学させていただき、国家公務員を志望するきっかけのひとつとなりました。その後、高等専門学校の専攻科に進学し、直売所・道の駅・地域ブランディングに関する研究に勤しみました。その後、東京で地方公務員（一般事務）となり、現在は直接知財に関係する部署には属していませんが、パテコンを通じて身に着けた、齟齬のない書類の作り方や、新しいものごとを見るとき知財的観点は、常に心にありつづけていると感じます。

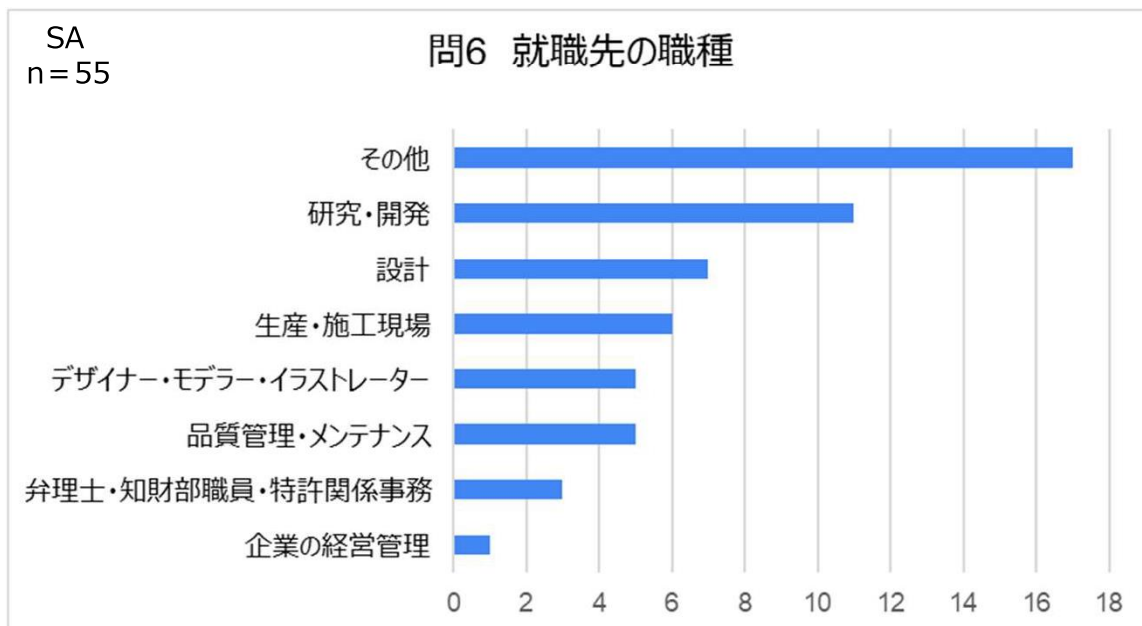
<能力に関するコメント12件>

- 研究内容を説明する機会は多くあり、その時の説得力が得られた。
- 賞や、また物を作るにあたって学んだ知識や技術、他にも仲間との絆など
- 大学に進学後、知的財産関連の講義や、ゼミ内で得た知識が役に立った。また、就職活動においても、知的財産に関する理解などにおいて有利であったように思う。
- 3DCADを用いたモデリングの作成
- 直接いかされるものではなかったが、特許や商標をとったことや受賞したことによる仕事のモチベーションが高まった。
- 自己で創造した作品が受賞されたこと
- 先行特許調査などの特許に対する意識が就職前から比較的強かったと思う。
- 開発職に就いているが、実際に活かせる部分がある。
- Wordで文章作るところ。
- 新しいアイデアを創造する部分
- 論理的記述力



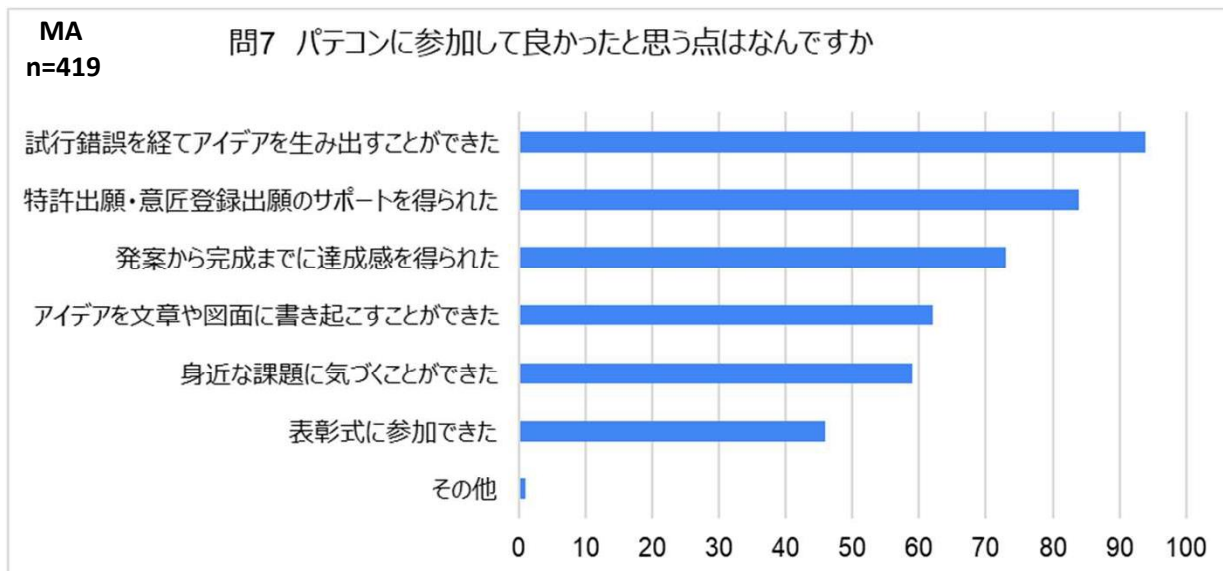
問5 専攻について

文化・地理・歴史・文学	1名
芸術・デザイン・建築	5名
数学・物理学・化学	3名
法律・政治・経済	5名
家政・生活	1名
生物・農・水畜産・獣医	1名
人間・心理・教育・福祉	3名
医療・スポーツ・健康	1名
工学・技術	31名
その他（商学1名、不明1名）	2名
社会学・マスコミ・メディア	0名
地球・環境・エネルギー	0名
国際・語学	0名



問6 あなたの職種に当てはまるものについて（現在・過去・今後の志望を含む）

研究・開発	11名
設計	7名
生産・施工現場	6名
デザイナー・モデラー・イラストレーター	5名
弁理士・知財部職員・特許関係事務	3名
品質管理・メンテナンス	5名
企業の経営管理	1名
農林水産関係	0名
それ以外	
営業職	1名
教員（高校教師1名、栄養教師1名含む）	5名
地方公務員（公務員含む）	3名
金融機関	1名
総合職（デザイン・企画職）	1名
出版社	1名
電気設備の点検	1名
商社に就職後、数年後に独立して起業しました	1名
インフラ	1名
医療関係	1名
技術職	1名



問7 パテコンに参加して良かったと思う点はなんですか（複数回答）

試行錯誤を経てアイデアを生み出すことができた	94名
身近な課題に気づくことができた	59名
アイデアを文章や図面に書き起こすことができた	62名
発案から完成までに達成感を得られた	73名
特許出願・意匠登録出願のサポートを得られた	84名
表彰式に参加できた	46名
その他	1名

⇒ 受賞までの道のりと受賞後の出願まで、通常の学生では体験できない経験を 得ることが出来ました。
参加してよかったと心から思います。ありがとうございました。

問 8 パテコンにまつわる思い出やエピソードがあれば教えてください。

<出願体験に関するコメント21件>

- ・知的財産学部の生徒で、僕が知っているなかでは出願人識別番号を持っているのは僕と相方だけであるということに、優越感を感じています。(笑) 出願のお手伝いをしてくださった弁理士の方と仲良くしていただき、INPIT知財支援窓口の方ともお話しできたことは、非常に有意義な経験になったと感じています。また、授賞式のために上京したのも良い思い出です。
弁理士の先生に大変お世話になりました。
- ・パテコンコンテストの資料作成もちろん大変だったが、選ばれたという連絡をもらった時が年末でかなり嬉しかった。特許出願の資料作成もかなり大変だったが、弁理士さんのサポートもあり学生の時に特許を取得できたことはかけがえの無い経験である。
- ・実用化や商品化には至らなかったが、特許という形で結果を残せて良かった。
- ・自分で0からものづくりをする体験をできたのがよかったです。
- ・学校側が3連覇をかけた年だった為、細かな指導があり、実際の弁理士さんからお話を伺いデザインの作成の参考になった。
- ・出願の手順の理解。
- ・弁理士さんに手厚くサポート頂き、出願書類を作り上げることができただけでなく、時間はかかったが、拒絶を覆して登録まで結びつけることができました。そこまでの過程で弁理士さんと一緒になって試行錯誤したことも人生においてとても良い経験値となり今現在の自分のコアとなっていると感じます。
- ・特許出願の際に弁理士の方にご指導頂いたことは、今でも記憶に残っています。特に、書類の書き方や類似特許調査の部分はその後役にたつ経験だったと考えています。特許庁の見学と表彰式の参加も良い経験になりました。
- ・学生時代でしたが、チームメイトや顧問の先生、弁理士の方と特許を取るという経験ができたことは、そうそうできることでは無いし、とても楽しみつつ頑張れた。
- ・初めて特許を書いて、登録させたときは、大変達成感を得られました。
- ・弁理士さんから貴重な話を聞くことができた。
- ・Wordの作成にあたって、独特の言い回しや表現の仕方に苦労しました。
- ・特許申請にあたって、見てもらう人が理解してくれるように、文章を構築した。ただ弁理士さんをお願いして特許を取るよりも深い理解ができたので、その後の会社での特許取得にもつながりやすかったのではないかと思います。
- ・弁理士さんとの打ち合わせが専門的で難しかったことを思い出します。
- ・特許申請の文書作成がとても勉強になり、今の仕事にも活かされています。
- ・何度も弁理士さんとやりとりを行い、とにかく必死でした。
- ・特許出願までの仕組みを知ることができた
- ・特許庁などの見学が出来たのは貴重な体験だった。また、弁理士さんとやり取りをして意匠権の申請を行ったのは、社会人として人と付き合う貴重な経験だった。
- ・弁理士さんとやり取りして書類を作成し、一旦拒否が出たときには一緒に説明しに行ったこと。また、全国から受賞者が集まって立派な表彰式に参加させていただいたこと。

<表彰に関するコメント 18件>

- ・特許庁長官賞受賞の決定だけ遅く、連絡も電話と二回高揚感を味わえたこと。
- ・表彰式の際に、特許庁などに訪問できたことがとても印象に残っております。また、過去に受賞された方のお話を伺えたことが励みになりました。
- ・デザコンの表彰式も同時にあり、技術とデザインの両方大切だという知見が得られた。特許庁にも簡易裁判所があることに驚いた記憶があります。
- ・全国の素晴らしい開発の受賞を間近で見ることが出来たいい経験や、友達ができたこと。
- ・アイデアを文章にするのは大変でしたが、受賞を聞いたときはうれしかった。
- ・東京での表彰式に参加できたこと・毛利衛さんに会えたこと。
- ・表彰式で自分が好きで読んでいた日経デザインの人（編集長？）がいてやってよかったなと思った。
- ・表彰式に出た思い出が人生で1番嬉しい。
- ・同年度にパテントおよびデザインパテントの両部門で受賞したが、表彰式の際に、胸飾りが片方の色しかなく、集合写真のときに浮いていたこと。
- ・野口さんに会えた。
- ・授賞式でのプレゼンは貴重な経験が出来ました。
- ・緊張した。
- ・高等専門学校での授業の一環で参加し、受賞のご連絡をいただいたときは驚きました。グループ4人と引率の教員で福島から上京し、授賞式に参加したこと、また、特許庁の内部を見学させていただいたことは印象深い経験でした。実際に特許出願をする際には何度もリジェクトされ、頭を悩ませながら手続補正書等を追加で提出したことが記憶に深いです。また、地方（福島）から電子による出願を行うにあたり、住基カードとカードリーダーを使用しましたが、なかなか上手く通信できず、ハード面での課題をクリアするにも苦労したことをよく覚えています。
発表の班の班長として参加したが、資料の準備や、どう言った質問が来るかと予想しながらそれを説明するような実物を3Dプリンターにより作成することで自分の武器を増やすことが出来た。
- ・弁理士会会長賞をいただけたのが嬉しかったです。
- ・以前は予選落ちだったが、特別賞を受賞することが出来て努力が実ったと感じた。

<称賛に関するコメント 4件>

- ・一位を取った時は、実感がなかったが、いろいろな人から賛称の言葉をもらうにつれ、実感が湧いてきたこと。
- ・嬉しかった。
- ・「特許」に対するパブリックイメージがハイレベルなものであるため、何かと話のネタになるたくさんテレビや新聞の取材がきたこと。

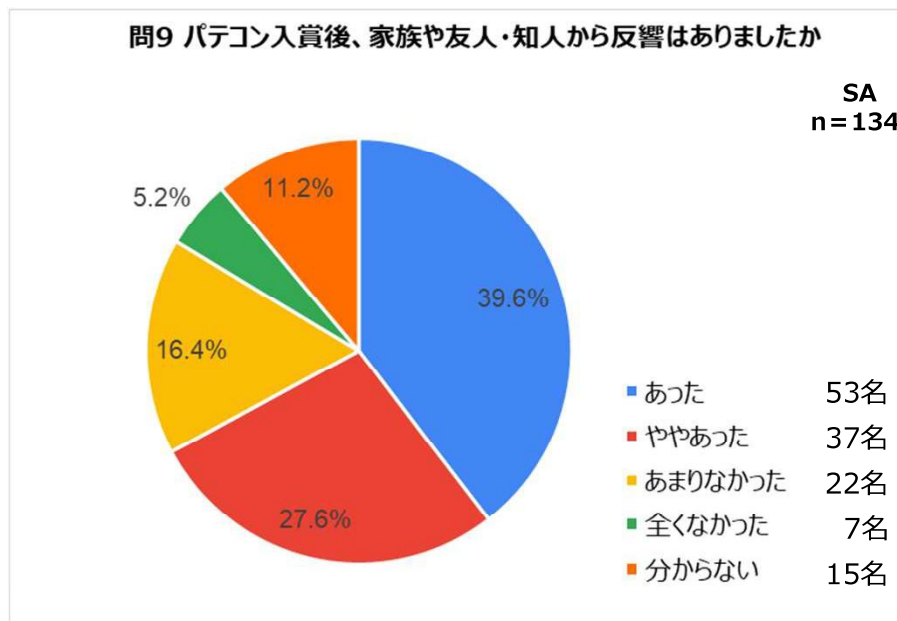
<チームワークに関するコメント 8件>

- ・仕事柄研究内容に興味を示して頂き話が弾む事が多々あった。また、チームで1つの研究へ取り組んだ事で得難い交友関係を築けた事や、実績を達成した事で1つの自信となった事、更には研究を社会に生かせないか考えた事で狭い知見を広げる良いキッカケとなった。
- ・初めての高校での後輩と1つの製品を、立場関係なく意見を交わし、試行錯誤しながら作り上げることができた。
- ・チームみんなで試行錯誤して一つのことをやり遂げた達成感があったこと。
- ・分野をまたいで他の学科の学生と交流できたこと。

- ・チームで特許をとるためにアイデアから考え試行錯誤し頑張れたこと。
- ・仲間と考えを深めて一つの作品に意見を出し合っていたことです。
- ・仲間と協力しながら案や構造を考えたこと。
- ・作品の締切前日に夜遅くまで仲間と製作に励んだこと。

<その他思い出のコメント 24件>

- ・モノづくりへの興味が深まった。
- ・アイデア出しに苦労したのが良い思い出。
- ・夏休み期間を利用して短期集中でモデル作成を行ったことが、苦労した点でもあり、振り返ってみるとやりがいや楽しさがあったと感じております。
- ・取得後に指導者の恩師がなくなってしまったので、パテコンが恩師との思い出となっています。
- ・パテコンの参加から特許の取得まで、実物ではなく3DCADで作ったモデルだけで行ったが、高校の卒業前に実物を作り、1年半ほど使い続けている。
- ・毎日、夜遅くまで残り、様々な試行錯誤して身体精神が辛い中でも、作品が完成出来て良かった。
- ・まさか選ばれると思わなかったので、とても驚いた。
- ・作品の構造を考えると、実際にやってみて、楽しく取り組めた。
- ・液汁貯留溝の構造を実験していた時に3Dプリンターが上手く出力されておらず、溝が埋まっていたことが思い出に残っています。
- ・なかなか液汁を貯める構造ができなくて遅くまで頑張っていました。
- ・亀甲たわしも特許だと担任の教授に言われた衝撃が忘れられない。自分でもそのぐらい考えられると思った。
- ・達成感が得られた。
- ・高校3年生の卒業課題のようなものでパテコンテストに参加しました。身近なものをアレンジして機能とデザインを両立させるというテーマで試行錯誤した結果、3点応募しました。受賞出来たのですが、本命ではないデザインが受賞してしまったのは少し悔しかったです。ですがいい経験になりました。
- ・大学の授業でパテコンテストの資料作成をサポートしてもらい、実際のパテコン商品のサンプル作成までできたこと
- ・授業が終わって、放課後集まってやっていたため、部活もあり忙しい日々だったが、楽しかった思い出があります。
- ・試作品を作って有用性を確かめたのは、今後の役に立った
- ・オンライン授業を受けていて不便だと感じていたことから発明の着想を得たので、ステイホーム期間を自分の糧にできたと思っています。
- ・自分だけではできない、貴重な経験ができました。
- ・弁理士の先生とアイデアを深掘りして、ブラッシュアップさせたことでパテコンテストを受賞することができたことです。
- ・1つのことに集中して取り組むことができ、楽しかった思い出があります。
- ・日常の中で、これ不便だなあ、と思うことに対していちいち「こういう品を発明したらどうか」と考えるようになった。
- ・数十年に一度レベルの大雪で表彰式が中止になったこと。
- ・今まで縁遠いと思っていた特許というものが、パテコンテストへの参加をきっかけに身近に感じられるようになった。



問9-1 どういった反響がありましたか。具体的に教えてください。

<称賛に関するコメント 37件>

- ・動画を見た、すごかったなどの言葉をもらうことが多くなった。
- ・優秀賞の時点で周囲から驚かれましたが、特別賞の時はずごくお祝いしていただきました。「特許出願人」という響きもなかなかすごいようです。
- ・尊敬や祝福の声をたくさんもらった（他多数同様コメント有り）
- ・おめでとうや、入賞したデザインを商品開発するのかとか
- ・お祝いの言葉や商品化につながることで世間に反響があった。
- ・"私の二分の一成人式の時の将来の夢が発明家だったので、家族からとても祝福された。また、高校の友達みんなが応募した中、自分だけ賞を取れたので、みんなから驚かれた。"
- ・周囲が我が事のように喜んでくれた事
- ・特許を取得出来るのは、すごいと皆に言われました
- ・特許を持つ人は少ないので、称賛された。
- ・驚かれた
- ・賞を取って東京まで行ったので、就活などで良い影響があるのではと言われた。
- ・発明家だったの！？と驚かれ、特許取ってる人なんて周りに普通いないよといった意見をいただきました

<家族に関するコメント 11件>

- ・祖父母からはお祝いをいただき、両親が周りに言いふらすくらいには盛り上がりました。私よりも父の方が喜んでいただかかもしれません。
- ・「特許取得」という結果を得られて、凄いことである、と両親、祖父母などに褒められた他、どういう物で取得したのか、と興味を持って貰えた。
- ・家族はパテコンテストに協力的だった。
- ・家族からは頑張ったね、凄いねと言葉を貰い、知人からは新しいものをよく作れたねと驚きが見られました。
- ・私の両親や近年会っていなかった親戚からの連絡が来て、驚かれました。
- ・パテコンに入賞して特許が取れるかもと家族や親戚に言うと、みんな喜んでくれました。

- ・親戚にどんなデザインをしたのか、興味を持ってもらいました。
- ・自分に向いていることに気づくことができ、母もとても喜んでくれました。

<友人に関するコメント 7件>

- ・受賞の報告を聞いた友人が、知財について関心を持って話を聞いてくれた。
- ・出身の学校内で話題になっていて、昔の友人から連絡がきた。
- ・デザイン権利関係に関するアドバイスを求められるようになった。
- ・特許取得したときに色々聞かれて、応援を受けた。
- ・家族や友人も特許に関心を持った。
- ・友人から励ましの言葉をくれたこと。
- ・友人から流石と言われた。

<学校に関するコメント 5件>

- ・自身の受賞後、母校で毎年のように受賞者が出るようになった。
- ・学校自体が弁理士さんと知り合うことができ、現在も知的財産の講座などを行っているところ。
- ・学内で表彰されました。
- ・大学の文化祭で、2時間の講演の機会をいただきました。
- ・学校から特別賞、高専機構から理事長賞を受賞した。

<話題づくりに関するコメント 11件>

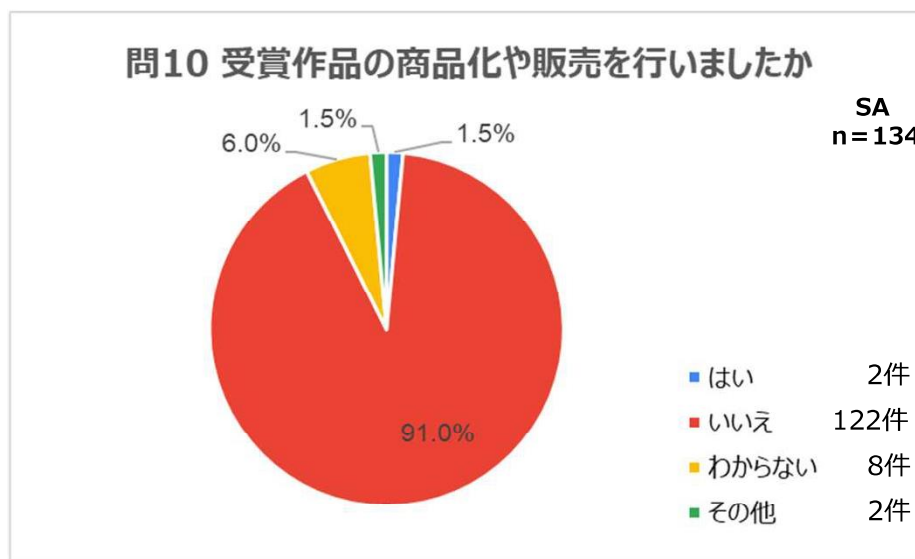
- ・単に実績を出しただけでなくその先の特許出願へと至った事は誰にでも分かりやすい実績でありあらゆる場面での話題作りに活きました。
- ・素直に喜んでくれた、話をするきっかけになり、進路を後押ししてくれた。
- ・入賞直後は、それほど反響はありませんでした。知的財産に対する世の中の認識が高まるにつれて、また、パテントコンテストの知名度が高まるにつれて、特に私よりも若い世代の方たちから反響が多くありました。
- ・特許を持っていることに驚かれた。
- ・発明の内容について興味を持ってくれた。
- ・やはり特許を取得している人間は珍しいので賞状を見せてとよく言われました。
- ・学生で特許を取得している人は多くないため、驚かれると同時にどんな内容の特許を取得したのか聞かれた。
- ・特許に関心を持っていた。
- ・特許が一気に身近に感じたため。
- ・特許取得の過程を注目された。
- ・名前検索でパテコンに入賞したことがわかり会話が広がった。

<成果に関するコメント 5件>

- ・今までは研究などに時間を費やしていることへの不満などもあったが、受賞できたことにより努力が認められた。
- ・自分のアイデアを認めてくれた。
- ・努力を褒められた。
- ・成果を認められた。
- ・自分の小さなアイデアが周囲にとって大きなものとして捉えられる可能性を知った。

<メディアに関するコメント 13件>

- ・新聞や大学のホームページに掲載されました。家族もとても喜んでいました。
- ・マスコミ等取材を受けて、それを見て知って驚かれたこと。
- ・地域の新聞記事に入賞した事が書かれており、祖父母、いここに褒めていただきました。
- ・大学の資料に掲載された。
- ・新聞への掲載で、自分・学校の取り組みが評価された。
- ・家族や親戚などが新聞を見て連絡をくれました。
- ・パテコン入賞後、新聞に載ったことで知人にこのことが伝わりました。
これを見た人達や家族から褒められました。
- ・ネットに名前が載っていると家族から言われた
- ・意匠権を持っていることで新聞社のインタビューがあった。
- ・校内誌やホームページに掲載され、福島の地方新聞社やテレビ局からのインタビューを受けました。新聞に大きな写真とともに掲載されたので、それを見た親戚からも連絡があり、親も喜んでいました。
- ・新聞に掲載して頂いたことで知人からもお祝いのメッセージを頂きました。
- ・地元の新聞に取り上げてもらえたり、私のアイデアが違う商品に派生したり、両親にも声をかけられたりした。

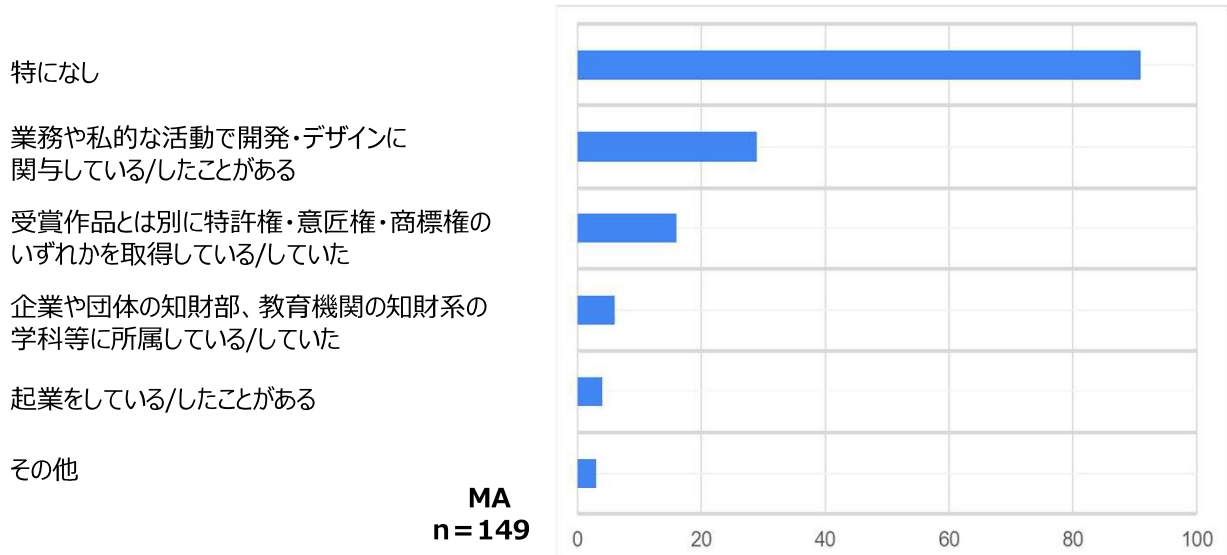


**問10-1 差し支えなければ、商品名や受賞作品名を教えてください。
また、その他の具体的な内容について教えてください。**

商品名：ベジタブルハム
そらまMENストラップ

その他 具体的な内容：開発中（1件）
靴紐留め具を3dプリンターで作り、学校の展示祭などで販売した。
現在商品化のために動いている（1件）

問11 ご自身と知財とのかかわりについて、現在の状況を教えてください

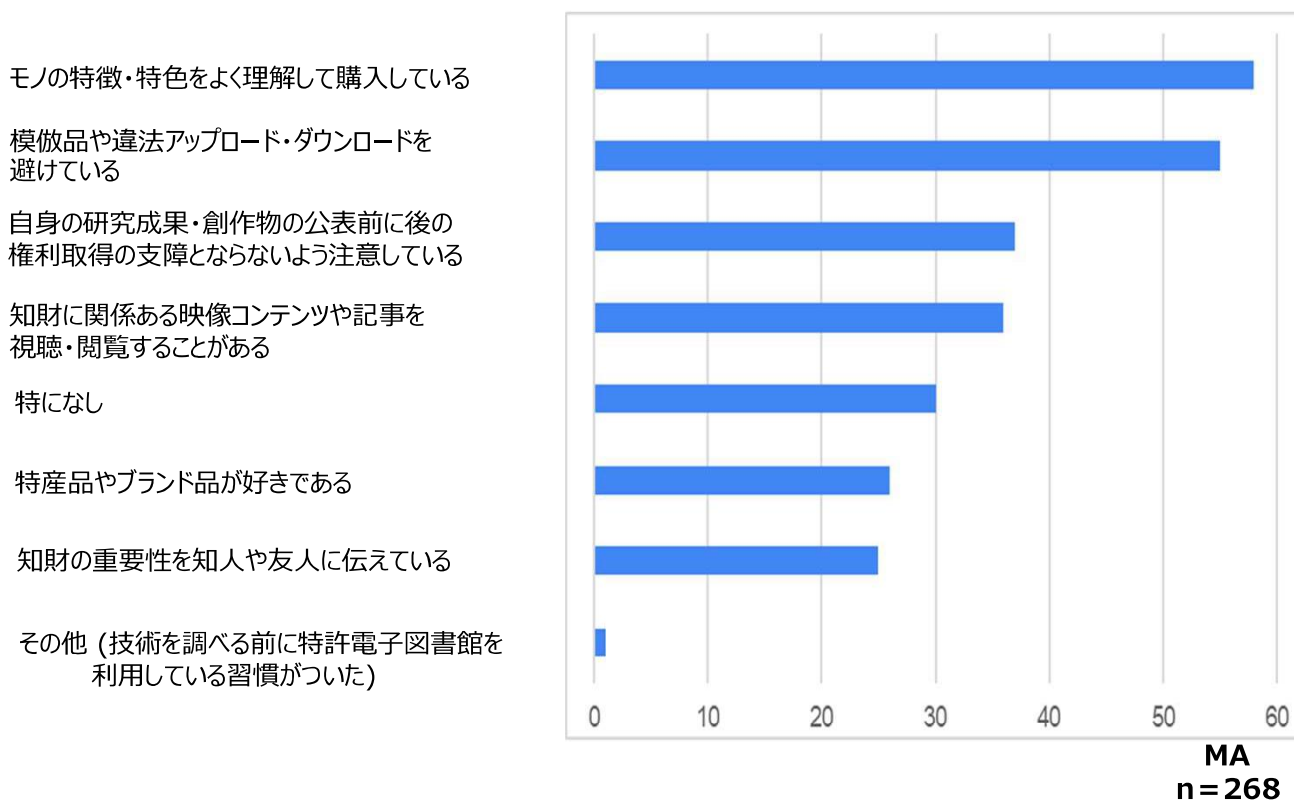


・受賞作品とは別に特許権・意匠権・商標権のいずれかを取得している／していた	16名
・企業や団体の知財部、教育機関の知財系の学科等に所属している／していた	6名
・起業をしている／したことがある	4名
・特になし	91名
・業務や私的な活動で開発・デザインに関与している／したことがある	29名
・その他	3名

問11 その他とお答えの方の回答

- ・知的財産に関する学習用資料の執筆など。
- ・高校は東京工業大学附属科学技術高校の工業科のシステムデザイン・ロボット分野に所属して
いて、大学は東京理科大学の工学部機械工学科に所属している。
- ・現在も業務で開発したものを出版している。

問12 あなたの行動や意識に当てはまるものを選んでください。



- ・モノの特徴・特色をよく理解して購入している 58名
- ・模倣品や違法アップロード・ダウンロードを避けている 55名
- ・自身の研究成果・創作物の公表前に後の権利取得の支障とならないよう注意している 37名
- ・知財に関係ある映像コンテンツや記事を視聴・閲覧することがある 36名
- ・特になし 30名
- ・特産品やブランド品が好きである 26名
- ・知財の重要性を知人や友人に伝えている 25名
- ・その他 (技術を調べる前に特許電子図書館を利用している習慣がついた) 1名